

## 「防災塾・だるま」2024年9月 定例会議事録

司会：樋口誠

参加者：18名 現地参加17名、Zoom参加1名

日時：2024年9月19日（木）13:00～14:10

会場：神奈川県民サポートセンター11階講義室

資料：

- ① 議事次第（含む 会員アンケートのお願い、アンケート項目、神奈川大学エクステンション講座案内）
- ② 第198回「防災まちづくり談義の会」レポート
- ③ 第199回「防災まちづくり談義の会」チラシ、講演資料
- ④ かながわ・よこはま防災ギャザリング案内チラシ
- ⑤ 「防災塾・だるま」年間活動計画一覧
- ⑥ 神奈川大学エクステンション講座案内

### 1 塾長挨拶

今夏は様々な災害が起こり、神奈川県内でも水害の対応に当たったメンバーもいる。世の中にはいろいろな情報が溢れているが、それに惑わされないように、防災リテラシーを高めていくことが大切だ。

### 2. 報告事項

#### (1) 会員状況会計報告（早川）

現在104名となった。1名退会。1名入会（松島俊樹さん）

#### (2) HP更新状況(樋口)

- ・年間活動計画(2024年度)を「だるま事業」の一番上に置き、見やすくした。
- ・トップページに記載の「防災塾・だるま」とは、の文章を書き換えた。

→2024年には200回を突破とあるが、まだ200回を迎えていないので、「200回を突破する予定」とした方が良い。

→エクステンション講座は、現在「神奈川大学とだるま」が連携した形での開催になっていない（エクステンション講座のガイドブックに連携の文言がない）ので、「連携してきた」という表現が妥当。

#### (3) 第198回談義の会レポート 資料-②

講師の方々に、内容の確認をしてもらっている。

### 3. 審議事項

#### (1) 「防災まちづくり談義の会」200回突破記念イベントの進め方 資料-①

\*9月20日～10月31日 会員アンケート（年代・住まい・地域性・防災への意識や取組み・だるまで身に付けたことや要望など）：実態把握や意識調査

\*11月15日（金）「第200回防災まちづくり談義の会」：

アンケート結果の発表と、防災への提案・活動報告を数名の方にお問い合わせする。

→希望者は役員（塾長・副塾長）に連絡ください。これまで発表の機会がなか

った新しい人達の参加を期待している（人材発掘）。

\*12月19日(木)「第201回防災まちづくり談義の会」：  
防災アラカルト（様々な防災コンテンツを披露し合うお楽しみの会）  
談義の会終了後、忘年会を開催。

\*2月21日（金）「第202回防災まちづくり談義の会」  
テーマ：「災害耐性」が強い社会の実現（仮題）  
内容（案）：基調講演・パネルディスカッション・意見交換  
今まで、防災塾だるまの設立・運営に貢献して下さった方々を顕彰したい。

\*「防災まちづくり談義の会200回のあゆみ」を作成しHPにUPする  
（データのまとめ・アーカイブ）

※2025年には、「防災塾・だるま」の前身である「防災まちづくり談義を楽しむ会」発足20周年を迎える。その意義も込めた記念リーフレットを作成したので、皆さんからの意見を頂きたい。

(2) かながわ・よこはま防災ギャザリング2024（田中喜世美） 資料-④

10月12日 9:30~12:30（受付9:00~12:30）

手伝い（受付や場内整理など）に来て頂ける方は8:30集合  
都筑区災ボラ2名、早川、樋口、田中晃、吉開OK

(3) 神奈川大学エクステンション講座 資料-⑥

目的：談議の会で学んだことをより広く一般に拡大普及する

・講座タイトル：「地学を楽しみ災害対策を考える」 開催：14時~16時

・11/16 日本海の拡大と日本海溝移動説で知る関東地方の成り立ち 高橋雅紀氏

11/30 神奈川の大地の成り立ちと火山や地震とのかかわり 平田大二氏

12/7 関東平野に住み続ける叡智

講座1「能登半島地震現地視察からわかること~神奈川の地盤  
あなたの家の地盤を知る~」 荏本孝久氏

講座2「命を守る住まいの耐震性能とは、

なぜ耐震診断・耐震診断工事が必要？コストは？」河原典子氏

これまで、「防災塾・だるま」で学んだことを公開する。

会員メールでも参加案内を行う。

(4) 名簿作成のための情報収集（Google フォーム使用）：

項目や、公開の仕方など詳細を検討中。

(5) 2025年カレンダー作成（田中喜世美）

・11月定例会で配布する。

・載せたい情報（写真やイメージ画像等）を10/18までに田中喜世美さんへ送って下さい。

(6) Google フォームを利用した「災害が起きた場合の対応のまとめ」(鷺山)

- ・この夏、「南海トラフ巨大地震注意報発表」や、台風10号により神奈川県内の会員が居住する地区が被災する事態があった。そのような時に組織としてどう行動したらよいかを決めておきたい。
- ・会員からの情報(災害の状態や、どの様に行動したか)を共有したい。
- ・タイムリーに公的情報を発信することが大切。
- ・発信に際しては、不用意な拡散に繋がったり、不安を煽ったりしないように責任ある組織として配慮が必要。
- ・会員からの地域における災害についての情報など、会として共有すべきことは、副塾長共有で判断して会員メール配信するなど対応したい。

(7) 今後の予定(年間活動計画)(鷺山) 資料-⑤

- ・10月18日の役員会は、関内(横浜市青少年育成センター)第2研修室
- ・12月の定例会&第201回談義の会(防災アラカルト)は19日(木)  
関内(横浜市青少年育成センター)第1研修室

次回定例会 : 11月15日(金) 13:30~

関内(横浜市青少年育成センター)第2研修室

以上